

JFPF 国際人口問題議員懇談会

The Japan Parliamentarians Federation for Population

NEWS LETTER

No.18 April 2014

● 第47回国連人口開発委員会

阿部俊子 JFPF 副幹事長・女性問題部会長ステートメント

国際人口開発会議(ICPD)行動計画実施状況の評価



写真：Permanent Mission of Japan to the United

2014年4月7～11日まで、ニューヨーク国連本部で、政府間会議である第47回国連人口開発委員会(CPD)が開催されました。今回のCPDは、1994年にカイロで採択された国際人口開発会議(ICPD)行動計画実施状況の評価に焦点をあてたものです。

委員会初日には阿部俊子 JFPF 副幹事長・女性問題部会長が、第47回国連人口開発委員会日本代表としてステートメントを発表し、ICPD 行動計画が、日本の開発協力において最も重要な指導理念である人間の安全保障の実現に資す

るものであること、ICPD ビヨンド2014 枠組の実施、そしてポスト2015年開発アジェンダに向けた実りある議論への貢献に日本がコミットすることを、改めて示しました。以下にステートメントの概要をお伝えいたします。

ステートメント要旨



ICPD 以降の開発枠組みへの取り組み

ICPD 行動計画は我が国の開発協力における最重要理念である人間の安全保障の実現に資すると考え、行動計画の実施に向けて努力を続けてきた。そして今後の ICPD ビヨンド 2014 枠組の実施、そしてポスト 2015 年開発アジェンダを裏切るものとするために貢献する。

人口・開発問題解決のカギは女性

人口・開発問題のカギは、女性のエンパワーメントと、社会のすべてのレベルにおける意思決定への参画の拡大である。日本は長年にわたって地域レベルでの取り組みを実施・奨励し、成果を上げてきた。昨年9月の国連総会で安倍晋三内閣総理大臣は、女性の活用を通じた経済対策である“ウィメノミクス”に焦点を当てた。この点から日本は、女性の社会参画推進、職業訓練提供、村落給水整備、より良い母子保健サービスの提供等途上国の種々の取組を支援したい。特に、アフリカを中心に、女性の農業従事者、特に小農と、女性の起業家を支援するとともに、女性のエンパワーメントやジェンダー平等に向けた取り組みを、関連国連機関との密接な連携の下で実施する。

高齢社会における健康長寿の実現

日本は、一貫して世界で最も長寿な国だが、近年における低出生率もあいまって、世界で最も高齢人口比率の高い国である。高齢化社会における重要な目標は、健康長寿の実現である。現在、日本は世界で最も健康寿命の長い国だが、これには我が国が1961年に達成したユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）が重要な役割を果たしたといえる。他方、高齢化社会には多くの課題があり、特に社会保障費の増加は、我が国経済の持続可能性を脅かしている。この問題への奇跡的な解決策はないが、ワーク・ライフ・バランスと家庭に優しい環境づくりの推進、そしてジェンダー平等に向けた取組が不可欠である。UHCを含む適切な社会保障システムの導入を促進することは、世代間格差の軽減につながり得る。我が国はこれらの対策を国際保健外交戦略の重要項目として掲げ、これから高齢化する国々と日本の経験を共有する用意がある。

人口と開発に関する国会議員活動の重要性

今回、日本の国会議員として CPD で初めて発表した。我が国の国会では、世界で最初の人口・開発に関する超党派の国会議員連盟として、1974年に国際人口問題議員懇談会（JPFP）を設立した。私たちは、各国の私たちのカウンターパートと緊密に協力してこの問題の解決のためにあらゆる努力をする。その際に国民の代表である立法府の議員が、人口・開発問題の解決に中心的な役割を果たすことが重要である。

<要約文責事務局>

* 全文をご希望の方は事務局までお問い合わせください。



国際人口問題議員懇談会(JPFP)事務局
(公財) アジア人口・開発協会(APDA)

TEL: 03-5405-8846

FAX: 03-5405-8845

E-mail: apda@apda.jp

Website: <http://www.apda.jp>